

## 日本のモノづくりの“こころ”を子どもたちに伝える取組み 丸の内キッズジャンボリー2018に

「中小企業のモノづくりの素晴らしさを子どもたちに伝えたい」という思いを込めて、当法人が立ち上げた“ワザ伝”プロジェクト。8月14日～16日にかけて東京国際フォーラムにて開催された丸の内キッズジャンボリー2018に「ワザ伝！日本のモノづくりを学ぼう！」と題したプログラムを出展しました。



### 「プロの技ってすごい！」 子どもたちが おどろき、学んだ3日間

日本の中小企業の技・伝統技術の伝承のため、昨年に引き続き当法人は放課後NPOアフタースクールと協同して「丸の内キッズジャンボリー2018」に出展。伝統の技やモノづくりのおもしろさを伝えるワークショップを開催しました。

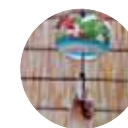
心を込めてモノづくりに臨むことや、難しい作業にも諦めずに取り組む姿勢の大切さをプロの職人・技術者から直接、子どもたちに伝えました。参加した子どもたちからは、「難しかったけれど、だんだんうまくなってきた」「モノづくりにには気持ちが大切だということわかった」などの声があがりました。

## 「ワザ伝！日本のモノづくりを学ぼう！」を出展しました



紙の上で絵の練習をしてから、風鈴の絵付けに取り掛かります。風鈴の内側から絵を描く作業は、絵の向きや重ねる色の順番に配慮しなければならないので、みんな真剣そのもの。

### 涼を感じる匠の技 江戸風鈴の絵付けを体験



2 日目は、「江戸風鈴」を製造している篠原まるよし風鈴の篠原正義氏の協力の下、風鈴のなりたちを学び、絵付けを体験しました。型を使わず空中でふくらませる宙吹きでつくられるガラス風鈴。20年もの修行を経た職人がつくりあげます。

その風鈴に、それぞれ意味があると教わったサクラの花や金魚、花火、富士山などの絵がらや、自分の名前や日付を入れて、世界に一つだけの風鈴をつくりました。「気持ちを込めて描いてください。優しい気持ちで描くと、優しい音が広がり、みんなのこころを優しくしてくれます」。篠原氏の言葉を受け、みんな丁寧に描き進めていました。

モノづくりには、つくった人の気持ちが表れます。今日の体験を通じて感じた「一生懸命つくる」という気持ちを、大人になっても忘れずにいてほしいですね。



篠原まるよし風鈴  
 篠原正義氏

職人さんになったみたいでドキドキ！



同じ大きさに加工された金属を持ちくらべて重さのちがいを感じ、「値段もずいぶんちがうんだよ」との説明に興味津々の子どもたち。

### 伝統工芸「鹿沼組子」で コースターを作ろう



初 日は、(有)豊田木工所の方々と一緒に、栃木県鹿沼市の伝統工芸、「鹿沼組子」を体験しました。鹿沼組子は、切り出した木片をクギを使わずに組んで、さまざまな模様をつくる伝統工芸。わずか1mmのズレも許されない、計算しつくされた部品が必要で、高い技術力が求められます。

鹿沼組子を知ってもらうため、クイズを交えた講義の後、実際に職人が切り出した木片を組んで、伝統の「麻の葉模様」「胡麻模様」のコースターづくりに入ります。図面を見ながら正しいパーツを探してパズルのように組んでいく作業に、楽しそうに取り組む姿が見られました。最初はなかなか組み込めない子も、なんとかパーツがはまると「ピッタリはまって、落ちない！」と笑顔に。

クギをまったく使わないことに驚いたり、それぞれの模様に興味を込められていることに感心したり、新しい発見がたくさんあった様子でした。



正しいパーツを見つけて組んでいく作業に、苦戦しながらも楽しそうに取り組んでいました。



(有)豊田木工所  
 豊田皓平氏

近代的な住宅が増えるにつれて、組子の需要が減っています。こうした体験を通して、少しでも日本の伝統技術に興味を持ってもらえたらうれしいです。

### 金属加工のヒミツに迫る！ 精密コマを作ろう



キ ッズジャンボリー最終日は、全日本製造業コマ大戦で優勝した仙南マシナクラブ※の方々の指導の下、「精密コマ」づくりに挑戦しました。

まずは、精密技術で加工された金属のパーツに触れて重さ確かめたり、金属の種類や加工方法について学んだりしました。その後は「コマづくり」へ。自分の好きな色の持ち手を選んだら、胴体になるリングも、長く回るタイプ、ケンカコマに強いタイプなどの6種類の中から選びます。持ち手とリングを機械にセットして、カー杯レバーを下ろして圧入する作業は、「思っていたより力がある！」と驚いた様子。先端に回転の軸となる鋼球を埋め込んだら完成です。

回す練習をした後、トーナメント形式での対戦とタイムトライアルが行われました。両方の優勝者に、金色のコマをプレゼント。「大人になったらもっと強いコマをつくりたい！」と意気込む声もあがりました。



モノづくりは、すべての仕事に通じると思っています。今日参加してくれた子どもたちが大人になって、モノづくりの担い手になってくれるのを楽しみにしています。



(株)岩沼精工  
 千葉厚治氏



イケダ工機(株)  
 池田広史氏

※仙南マシナクラブから、今回はこちらの2社にご協力いただきました。